

## 日本気象協会、物流需要予測にツイッター活用

Edited By LogisticsToday On 2016/04/25

日本気象協会は25日、2014年度から取り組んでいる「需要予測の精度向上による食品ロス削減、省エネ物流プロジェクト」で、人工知能（AI）、POS、SNSデータを用いた需要予測モデルにより、小売店の来店客数予測が従来の手法に比べて20%向上したと発表した。

15年度はツイッターの位置情報付きツイート情報から、と、のような気象条件の時に「暑い」「寒い」と感じるのかを分析し、より商品の需要に直結する「体感的な暑さ・寒さ」を表す体感気温を作成。

また、小売店の全商品の売り上げデータと気象の関係を分析することで、今後、需要予測を優先的に進めるべきカテゴリとして飲料や鍋物などが明確になった。

これらの成果を踏まえ、今年度は製造業を中心としてきたこれまでの実証実験を先に進め、製・配・販の連携として販売計画の共有・季節商品の終売プロセスの最適化などに取り組む。さらに、15年度に開発したAIを用い、需要予測手法の高度化を進め、小売業の発注業務に生かすなど、実際のオペレーションに活用する。

15年度の実証実験では、気象情報を需要予測に活用する取り組みの結果、ネスレ日本と川崎近海汽船が取り組んだモーダルシフトでは貨物1トンあたりのCO2排出量を48%削減し、半年で98トンの削減量を達成した。相模屋食料とミツカンの取り組みでは、豆腐のロスが3割減ったほか、冷やし中華つゆも2割近く減少した。



15年度はプロジェクトの参加団体数が初年度の9団体から26団体へ拡大。初年度はメーカーの対象商品を3品目に限定していたが、15年度は8品目に拡大した。さらに人工知能（AI）の研究者の協力を得て、小売業で扱う幅広い品目で解析を行った。

同プロジェクトでは、食品ロスの削減と返品・返送、回収、廃棄、リサイクルなどで不要に発生しているCO2を5%削減することを目指している。

---

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/229952>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.